

## 特命による選定理由及び委員会議事要旨

施設名	日比谷公園大音楽堂		
指定管理者候補者	東京南部パークスグループ	指定期間	令和5年4月1日から令和6年9月30日まで(1年6か月)
特命理由	<p>日比谷公園大音楽堂は、1983(昭和58)年に施工された施設で、建物及び設備の老朽化が進んでおり、令和6年度後半に解体工事を予定している。今回の指定管理期間が1年半と短く、公募により民間事業者を競わせて創意工夫を引き出す余地が乏しい。</p> <p>一方、サービス水準を確保する上で、確実に運営体制を確保できる必要がある。そのため、これまでの実績があり、従前の指定管理者である東京南部パークスグループに引き続き特命する。</p>		
委員会議事要旨	<p>○東京2020大会のレガシーとして、日比谷音楽祭を継続実施すること等が提案されており、適切である。</p> <p>○クラウドファンディング等、資金調達手法の多様化により、日比谷野音100周年記念事業や日比谷音楽祭などの自主事業を積極的に展開していく姿勢は期待できる。</p> <p>○感染症の流行等により集合型イベントが実施できない場合であっても、オンライン生配信等の代替手段によってイベントを実施していく提案は、新たな生活様式に則った対応であり、適切である。</p>		

施設名	葛西臨海水族園		
指定管理者候補者	公益財団法人東京動物園協会	指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで(3年)
特命理由	<p>都では、都立動物園を、レクリエーションの場であるとともに、社会教育施設としての学びの場や、多様な自然環境を守り、様々な動物と共生するための取組を進める場を提供する、重要な社会的役割を担う施設として位置付けている。その社会的役割を十分に果たすには、環境学習や調査・研究などの非営利性の高い取組を行っていく必要があり、都の公の施設として安定的・継続的に運営していくことが不可欠である。</p> <p>葛西臨海水族園は、上記のような都の動物園としての社会的役割の実現に向けて、展示の充実、種の保存への貢献、環境学習の実施、飼育繁殖技術等の調査・研究などを、恩賜上野動物園、東京都立多摩動物公園及び井の頭自然文化園とともに4園一体となって推進しており、飼育展示や環境学習、繁殖などの様々な技術を継承するなど、国内の動物園を牽引している。</p> <p>園内で飼育する動物には絶滅が危惧される希少な野生動物も多く、長期的視点に立った高度専門的な飼育繁殖技術と管理が必要である。また、国内外の動物園や生息地等と信頼関係を構築して連携し、動物交換や繁殖契約を行い、野生動物の保全に取り組むことが重要である。さらに、野生生物等の理解を深めるための環境学習プログラムの強化、快適な観覧環境創出や展示の魅力向上、飼育・繁殖技術等の継承・発展・発信に取り組んでいかなければならない。</p> <p>公益財団法人東京動物園協会は、動物園・水族園の発展振興を図るとともに、動物とその生息環境について知識を広め、人と動物の共存に貢献することを使命としており、指定管理者として動物の飼育繁殖技術のノウハウを継承・蓄積し、国内外の動物園等への支援や国際会議での発表といった実績を積み重ね、国内外の関係各所からの信頼を得てきた。</p> <p>また、飼育の知見を活かした環境教育プログラムの展開、魅力的で動物にも快適な展示への改善、長い歴史で培った飼育繁殖技術の調査・研究などの施策に取り組んできた。</p> <p>高いレベルでの飼育繁殖技術を持ち、国内外の動物園等と連携して野生動物の保全に取り組むこと、さらに知見を活かした環境教育の充実や展示の改善、賑わい創出などを実施することのできる団体は、東京動物園協会をおいてほかにはなく、特命で東京動物園協会を指定管理者候補者に選定する。</p>		
委員会議事要旨	<p>○世界トップレベルの飼育技術の継承と更なる向上のため、海外の飼育機関と積極的な交流・情報交換を図る方針が示されており、期待できる。</p> <p>○環境省の方針及び第2次ブーストック計画を踏まえ、野生動物の生息域内外での保全活動について、野生生物保全センターを中心に都立4園が連携して推進するなど、適切な体制を構築している。</p> <p>○教育普及活動について、園内のみならず、アウトリーチやデジタル技術を活用した園外活動や外部機関との連携によってさらに活性化する取組が提案されており、教育普及の充実が期待できる。</p> <p>○首都東京の水族館として国内外からの多様な来園者への快適環境の提供はもちろんのこと、新水族館の整備も見据えて、さらに魅力的な展示を実現するための取組が提案されており、適切である。</p>		